

ここが課題!

決算審査特別委員会で審査しました。メンバーは10人です。(議長はオブザーバー、議会選出監査委員は説明員のため、この中には含まれません。)質疑後、議員間で自由討議を行い、評価すべきところ、課題など意見を出し合いました。議員一人ひとりの決算に対する思いをお知らせします。



関根 清隆 議員 節約と職員のスキルアップを

コロナ対応は高く評価するため、ネット通販や中古品利用の研究が課題である。また、業者に丸投げせず、職員が勉強すればできることもあり、節約とスキルアップにもつながる。英語教育では積極的な指導者追加補強が望まれる。

石井 徹 議員 北部地域活性化事業の推進を

令和3年度は北部事業の第1期取り組み方針も終了し、起債上限の1億円をはじめ、起債残高削減計画を策定したことにより、単年度の健全化は果たされた。今後の北部事業の第2期活性化取り組み方針について、整合性のある事業推進の実現を望む。



第2期活性化取組方針の町道第1号線第2工区予定地(泉井地内)



北部地域活性化とつなげたい町営路線バス

中山 明美 議員 希望をもてるまちづくりを

令和2年度、決算不認定だったこともあり、財政調整基金が増えたこと、町債が抑えられたことは、執行部が真剣に取り組んだ結果と思う。PR動画は新しいことに挑戦しようという意欲が見られた。

日坂 和久 議員 社会構造の変化に 適合した決算

新型コロナ対策など即座に対応すべきことがなされ、災害発生時に要する基金の増加や町債発行の抑制等は評価できる。

小鷹 房義 議員 財政調整基金の 積み立ては必要

今回、大きな災害が起きたが、町の普通預金である財政調整基金があったから、対策費用を出すことができた。これからもある程度の財政調整基金をきちんと積んでおくことが必要と、改めて思った。

森 利夫 議員 更なる財政健全化を

公債負担比率が増増したこと、地方債償還金額が税収と比べて多すぎることを憂慮する。少子高齢化社会に対応できるように、更なる財政の健全化が必要だ。

自由討議から 町に対する 意見・提言

交通政策について

自動運転バスの検討は行ったのかとの意見や、町営路線バスの町内利用者が2割という比率がまだまだ低く、北部地域の活性化に繋がっていないという意見があった。

不正事件について

事件発生後、議会としても特別委員会を設置し、厳格に町の対策案を検証し、必要な要求をしきった。その結果、今までの町政で曖昧だったコンプライアンスと職員意識向上に一定の成果があり、決算の数値上には表れないが、対策に町全体が真摯に取り組んだことは評価できる。有識者会議の設置も効果的であった。最終報告書はできあがったが、それに満足せず、絶えず真剣な取り組みを持続していくことが重要だ。このような事件を今後は決して繰り返さないでほしいと、多くの議員から強い意見が出された。これは、鳩山町の将来にとって良い教訓となった。

令和3年度 決算

ここを評価!

ゆとりを感じてもらえる施策も
 新型コロナウイルス感染症拡大防止策が行われたことは評価できる。
 保養施設利用助成で、町民にゆとりを感じてもらおう施策も必要ではないか。

小川 唯一 議員
 施策も

活性化施策を
 大きく膨れ上がった借金のため、活性化施策に、予算を振り分けられなかった決算だ。基金への積み立て重視では、町の活性化は程遠い。

松浪 健一郎 議員

1周年を迎えた上熊井農産物直売所
 「ちよくま」



町の元気・魅力づくりを
 デジタル図書館など、コロナ関連補助金を使って整備ができた。高齢者などの対応は、更に工夫が必要。
 地域・住民と連携して、町の元気・魅力づくりをすすめて欲しい。

野田 小百合 議員

農業振興と住民負担の軽減を
 2つの農業施設「上熊井農産物直売所」「泉井交流体験エリア」と地域住民への関わり、地域産業を農業振興と考えているか。
 国保・介護保険料(税)が住民の重い負担になっていないか。

根岸 富一郎 議員



活性化の拠点となるか
 泉井交流体験エリア

更に町の財政健全化を
 人口減少、超高齢化社会へ対応しながら、将来の活性化につながる施策を戦略的に取り組む必要がある。
 町の財政健全化にも更に取組んでもらいたい。

石井 計次 議員

【議会選出監査委員】



整備した施設の活用を
 起債依存の財政運営からの脱却へ踏み出し、起債額を抑制したことは、評価できる。
 町長の方針では、直売所や交流体験エリアなど、整備したハコモノを活用するなどと言っているが、実情は指定管理者任せではないか。

大賀 広史 議員

■PR動画について
 新しく挑戦したことは評価できる。YouTubeなどの活用も考えられる。町職員も前向きに動画を作る方向とのこと。経費をかけず、楽しく何度も見たくなるような作品を期待する。

■農業施策について
 泉井交流体験エリア、上熊井農産物直売所は、農業振興につなげる目的で作られた。町外の人にも来てもらうため、農業体験など、地元の方と連携した取り組みが必要である。
 新規就農者をいかに呼び込むかも課題であるが、農業に従事している議員から、農業に取り組みことの大変さも語られた。施設を造っておしまいではなく、地域の方々の思いをくみ取り、うまく活用できる施策をいろいろな角度から一緒に考え、展開していく必要がある。

■財政調整基金について
 コロナ禍で国庫支出金が増える中、町民福祉の向上において、支出が適正であったか疑問。財政調整基金を3億円以上積み立て、結果として今年の7月12日の豪雨災害対策費として充当できたことは評価できる。

■PR動画について
 新しく挑戦したことは評価できる。YouTubeなどの活用も考えられる。町職員も前向きに動画を作る方向とのこと。経費をかけず、楽しく何度も見たくなるような作品を期待する。